

1. 単元名(主題) 「仮説を検証しよう」

～プレ探究における検証結果の分析と考察による結論の導出～

2. 本時の主題の概要および設定理由

これまで生徒は、文献調査、アンケート、インタビューなど多角的なアプローチを用いて仮説の検証活動を実践してきた。

本時は、これら夏休み前後の調査によって得られた多様なデータや情報をチーム内で集約・分析し、「研究報告書」の核心部を執筆する極めて重要な局面に位置している。指導においては、単なる事実の羅列である「結果」と、そこから導かれる解釈や独自の分析である「考察・結論」の違いを明確に理解させることが、論理的思考力の育成において不可欠である。

また、本時は後期から本格化する「専門的課題研究」への移行期でもある。ラボコース等への配属を視野に入れ、自身の探究を深化させるために専門の教員を自発的に訪ねる「研究室訪問」を同時に位置づけることで、プレ探究の成果を次のステップへと地続きで接続させる。以上の文脈から、自立した探究者としての資質・能力を養うべく本主題を設定した。

3. 本時の目標

- 1) **データの共有と客観的整理:** チームメンバーがそれぞれ行ってきた文献調査やインタビュー、アンケート等の検証結果を共有・統合し、主観を交えない客観的な「結果(事実)」として報告書に整理できる。
- 2) **論理的な考察と結論の導出:** 整理された事実(結果)に基づき、自分たちの問い(リサーチクエスチョン)に対して何が明らかになり、何が課題として残されたのかを分析し、論理的な「考察・結論」を導き出して文章化できる。
- 3) **次期研究へ向けた主体的な進路設計:** 後期の「専門的課題研究」を見据え、自身の研究関心を整理した上で、専門分野の担当教員に対して自発的に質問・相談(研究室訪問)を行うことができる。

4. 本時の準備・使用教材

- 教員用提示資料: 『SS I 総探-第12回スライド』
- 使用教材(副教材): 『課題研究メソッド 2nd Edition』(岡本 尚也/新興出版社啓林館/2021)
- 生徒用ワークシート: 『前期プレ探究ノート』(Google Classroomにて配信済み)
『専門的課題研究 希望研究テーマシート』(ラボコース希望に配布)
- 共同編集用ファイル: 『プレ研究計画書兼報告書』(共有ドライブに原本テンプレート格納)
- 教員用管理資料: 『教室別名票』(各教室の担当教員に配布)、『HR別名票』
- 共有用デジタルファイル: 『前期プレ探究チーム決めスプレッドシート』(各教室用シート)
『SS I 分野&担当教員一覧』
- 共通参照資料: 『高1 SS I 学習の手引き』

5. 本時の展開(50分)

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
2分	(1) 出席確認と授業環境の確認。 - 学問分野ごとに指定された教室に入室し、出席確認を受ける。座席は自由とする。 - 個人端末の準備を整え、Google Classroomから『第12回授業スライド(PDF版)』を表示する。	- ホームルーム別の出席確認を効率的に行う。 - 座席は自由とするが、出欠の不一致がないよう名票と照合する。
4分	(2) 本時のゴールとスケジュールを確認する。 - 前期プレ探究の最終ゴール(研究報告書の完成)までの見通しを確認する。 - 研究報告書における「結果」と「考察・結論」の記述上の相違点を理解する。	『SS I 総探-第12回スライド』を用いて、報告書完成に向けたタイムライン(最終提出期日等)を意識させる。 - 指導上の重要点として、解釈を交えずに事実のみを記す「(5) 研究結果」と、結果を分析し自分たちの見解を記す「(6) 考察・結論」の書き分けをスライドを用いて丁寧に指導する。
4分	(3) 後期「専門的課題研究」に向けた活動説明を受ける。 - 次週から始まる研究分野の本調査に向けた準備(テーマ設定)の必要性を把握する。 「研究室訪問」のルール(SS時間内の訪問方法、時間制限、マナー等)を理解する。	- ラボコース希望者は『SS I 分野&担当教員一覧』を参照し、期間中に専門教員へ相談する必要があることを説明する。 - 本時中の教員訪問は「現在のプレ探究を最優先すること」「1回の訪問は最長20分までとすること」を厳守させる。
38分	(4) グループワークおよび研究室訪問【プレ探究ワーク】 各チームの検証手法に応じた作業を進める。 - 文献調査チーム:各自の調査結果を共有し、『前期プレ探究ノート』の(5)に統合する。 - インタビューチーム:実施内容を整理して(5)に記述、未実施チームは詳細な実施計画を確定する。 - アンケートチーム:回答結果を集計・分析して結果を記述する。 整理した結果に基づき、全員で「(6) 考察・結論」を議論し執筆する。 【希望者の研究室訪問】 ラボコース希望者や個別相談を要する生徒は、『希望研究テーマシート』を持参し、該当分野の教員が待機する教室へ訪問して指導・アドバイスを受ける。	- 教員は各教室を巡視し、記述の進捗が滞っているチームや「結果」と「考察」の混同が見られるチームに対して個別具体的な問いかけを行い、言語化を支援する。 - いきなり文章化することが難しいチームに対しては、各自の文献調査報告書からコピペして整理・取捨選択する手法を推奨する。 - 研究室訪問を行う生徒に対しては、節度ある態度で臨むよう、移動前に教室担当教員が一声掛ける。
2分	(5) 本時の振り返りと次回の予告 次回の活動(研究報告書「(7) 今後の展望」の作成およびプレ探究ノート全体の完成)の見通しを立てる。	プレ探究はあと2回で終了となり、報告書の完成と後期への本格的な移行が始まることを伝え、各チームでの自発的な事前準備を促す。